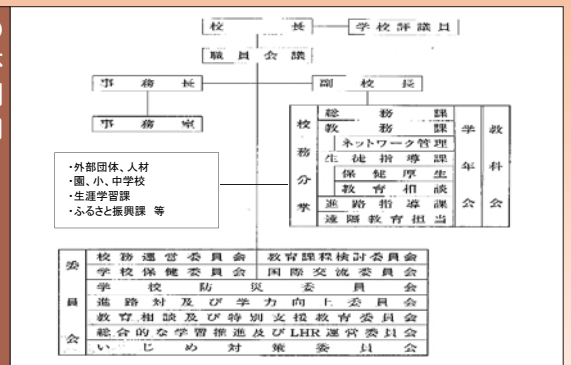


西和賀高校から始める地方創生 —故郷の活性化を推進する若者の育成—

岩手県西和賀町	● 活動名	● 関係する学校名
	いのち輝く百年創造塾	岩手県立西和賀高等学校

開始年度	平成 18 年度	学級数	6 学級	児童・生徒数	95 人
活動内容	<input type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 環境整備 <input type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 3 人	連携団体・企業等	西和賀町
ボランティアの数	登録人数 30 人	属性	地域住民		
参考 URL	http://www2.iwate-ed.jp/nwg-h/				

● 体制図



● 連絡先 岩手県立西和賀高等学校 ☎ 0197-84-2809

● 活動の概要・経緯

本活動の対象となっている西和賀高等学校は昭和47年4月に設立、創立45年を迎える。現在、1学年2学級で生徒数は95名。生徒減少に伴い、平成18年度から高校の魅力化を図る。小規模校という利点を生かし、生徒が「人生百年を自分で創る」という将来設計への意欲を持ち、主体的に生き方を模索して進路目標を決め、達成を目指す指導を展開。また、生徒が周囲に感謝するとともに社会に貢献し、社会で必要とされる人間として自己有用感を実感しながら生きること、実体験を積み重ね、深く考える力や推論する力、既成概念にとらわれず大胆に発想する力と豊かな感受性を育む教育を実践。そのために、地域と連携し、学年毎に体験的な学習を積み重ね、地方創生を担う若者を育成する事業を実施している。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 1学年「故郷を知る」（講師は西和賀町在住者）
 - ・まちの碧祥寺博物館等の文化財や史跡を見学して歴史と文化を学び、自己有用感を高める。
 - ・まちの雪冷房施設や弁天島等の自然観察をとおして故郷に対する愛着を養う。
 - ・まちの主幹産業である農業の現状と郷土色の特徴を学び、食をとおした地域おこしを考える。
- 2学年「故郷で生きる」
 - ・働くことの意義を学び、希望する企業や学校等で職場体験学習を3日間行い、進路意識の高揚を図る。
- 3学年「故郷の未来を創る」（講師は西和賀町在住者並びに大学の研究者）
 - ・まちの企業訪問研修と森林組合の林業就業体験を行い、故郷の産業の現状を学び、今後の展望を考える。
 - ・町商工会主催のチャレンジグランプリを文化祭で開催し、生徒が考案した郷土料理から、得票数が最も多い作品を、駅前のレストランで商品化する。
 - ・町長や町立病院長から西和賀町の現状と医療、福祉について学び、大学の地方創生の専門家の指導の下に故郷の活性化策を提案する。
 - さらに、被災地におけるボランティアや高齢者宅での雪かきボランティアに加えて、小・中・高連携事業により「故郷の縁を結ぶ」
 - ・小学生を招いて理科教室を開催。
 - ・小学生と中学生を招いてボート部体験教室を開催。
 - ・小学校において陸上競技教室を開催。
 - ・保育所において読み聞かせ教室を開催。

【実施にあたっての工夫】

生徒が学年毎に実体験をとおして「人生百年をいかに生きるか」と自らに問い、真剣に考え、自己の使命を自覚し、支えていただいた地域の方への感謝の念を胸に刻み、社会に貢献することをとおして自己存在の証を立て、自信を持って社会へと羽ばたくように指導している。

● 事業を実施しての効果・成果

事業実施の効果として、生徒は自分の生まれ育った故郷について多面的に学び、誇りを胸にその地域社会に貢献することを希望している。具体的には高齢社会を支える医療系や福祉系学部への進学、地元の経済発展を図り多様な政策を提案して実践するために地域社会学や経営学、さらには農業の活性化を目指して農学生命科学部への進学、山間部に点在する各家庭を結び情報網の整備を目指して工学系や情報系学部への進学、地域社会に根ざした教育を実践できるよう教育学部への進学を果たしている。また、就職する生徒も自宅から通勤できる北上管内に就職し、定着率も高い。

事業をとおして培った故郷への愛着と誇りが生徒の自己有用感を高め、限界集落と指摘された故郷の未来を創造する意欲を高めている。そして、地域の方々とともに活動したことにより、地域の方々が寄せる本校への信頼や期待も次第に大きくなり、力強い支援につながっている。地方創生の担い手が着実に育っており、大きな成果を収めている。



1学年「故郷を知る」
—西和賀の自然体験—
志賀来遊歩道 六月二十八日



「復興交流事業」全校生徒
による金石市根浜海岸清掃
七月二一日

ポイント

県立高校を拠点とした学校支援事業ですが、保・小・中とのつながりがあること、かつては全国的にも注目された福祉・医療・社会教育を連携させた健康学習運動がこの活動にも活かされていますね。